

A24 PRESENTS A PLAN B ENTERTAINMENT PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH LONGSHOT FEATURES AND MAVIA ENTERTAINMENT "THE LAST BLACK MAN IN SAN FRANCISCO" JIMMIE FAILS JONATHAN MAJORS TICHINA ARNOLD ROB MORGAN MIKE EPPS FINN WITTROCK AND DANNY BLOVER CASTING BY JULIA KIM. CSA WISSE BY EMILE MOSSERI DISTRING GESENIER AMANDA RAMIREZ EDITED BY DAVID MARKS PRODUCED BY DAVID MARKS PRODUCED BY DEDE GARDNER JEREMY KLEINER CHRISTINA OH PRODUCED BY KHALIAH NEAL JOE TALBOT WRITTEN BY JOE TALBOT TO WRITTEN BY JOE TALBOT WRITTEN BY

## 



## 「たとえ最後の一人になっても、この街で生きる」

## 都市開発によって変貌を遂げてゆくサンフランシスコで、居場所を奪われた者たちがいた一。

ゴールデン・ゲート・ブリッジ、坂道を走る路面電車、優雅に佇むヴィクトリアン様式の家が並ぶサンフランシスコ。歴史あるこの街は、急速な発展によって地価が高騰し、富裕層が多く住むようになったことで、代々住んでいた者たちは行き場所を失っていた。本作で主人公を実名で演じた、ジミー・フェイルズもその一人。生まれ育った場所が面影も残らないほど変化することで、大切な記憶が上書きされ、自分のアイデンティティまで否定されてしまうような感覚。それは一見パーソナルな物語でありながら、今や世界中で起きつつある問題を描いている。フェイルズの幼馴染でもあるタルボット監督は、そんな彼の物語を、美しい音楽や優しくも力強い台詞で紡ぎ、愛してやまない街の景観をスクリーンに閉じ込めた。自身初の長編映画となった本作は、世界各国の映画祭で高い評価を受け、オバマ前米大統領が選ぶベストムービーにも選出されている。

多くの財産をもたず、大都市の片隅に追いやられても、家族の記憶が宿る美しい家や、かけがえのない親友を大切にするジミー。そんな彼の姿は、「人生にとって、本当に必要なものとは何か」を見つめ直したい今だからこそ、私たちに温かい抱擁のような余韻を残し、寄り添ってくれる。

**STORY** サンフランシスコで生まれ育ったジミーは、この土地に最初に移り住んだ祖父が建て、かつて家族と暮らした記憶の宿るヴィクトリアン様式の美しい家を愛していた。いつか再び、思い出の家で暮らすことを夢見るジミーを、親友のモントはいつも静かに支えていた。ある日、歴史的建造物として観光名所となっていたその家が売りに出されることに――。今や"最もお金のかかる街"となったサンフランシスコで、彼は自分の心の在り処であるこの家を取り戻すことができるのだろうか。

監督・脚本:ジョー・タルボット 共同脚本:ロブ・リチャート 原案:ジョー・タルボット、ジミー・フェイルズ 音楽:エミール・モセリ 出演:ジミー・フェイルズ、ジョナサン・メジャース、ロブ・モーガン、ダニー・グローヴァーほか 提供:ファントム・フィルム/TCエンタテインメント 配給:ファントム・フィルム ©2019 A24 DISTRIBUTION LLC.ALL RIGHTS RESERVED.
[原題The Last Black Man in San Francisco/2019年/アメリカ/英語/ビスタサイズ/120分/PG12] 字幕翻訳:稲田嵯裕里 phantom-film.com / lastblackman-movie @lastblackman\_ip @ lbmisf #僕にはこの街がある